## 多職種連携研修会 「北部地域の感染症発生動向」

沖縄県北部保健所健康推進班 保健師 東江香帆

## (1)感染症対応における保健所の役割

- 〇相談対応
  - •一般、医療機関、市町村等
- 〇患者発生対応
  - ・発生届受理 (※届出基準の確認)
  - ・積極的疫学調査 (※1~4類及び5類等)
  - ・行政検査 (※ケース毎検討)
- ○施設の集団発生時等の対応
  - •感染対策指導/助言 •調査(必要時訪問)
- 〇感染症発生動向調査
  - ・感染症サーベイランス情報の還元
- 〇その他
  - 感染症危機管理時における計画策定及び訓練

#### 根拠法

「感染症の予防及び 感染症の患者に対す る医療に関する法律」 (感染症法)

## <u>感染症発生動向調査</u> (感染症サーベイランス)の目的

- ①感染症の流行を早期発見するため、感染症の発生状況を把握し、その結果を国民や医療機関等へ提供・公開すること。
- ②感染症に対する有効かつ的確な予防対策を 図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止す ること。

•

### 感染症サーベイランス 感染症情報の把握

- •全数把握疾患
  - →医師は診断したとき、全数届出報告を行う (例:レプトスピラ症、麻疹、結核等)
- •定点把握疾患
  - →定点医療機関から毎週報告 (例:インフル、コロナ、ノロ等)

ホームページ 掲載

メール

## (2)北部管内の感染症発生状況

※新型コロナウイルス(5類 移行前)は除く。

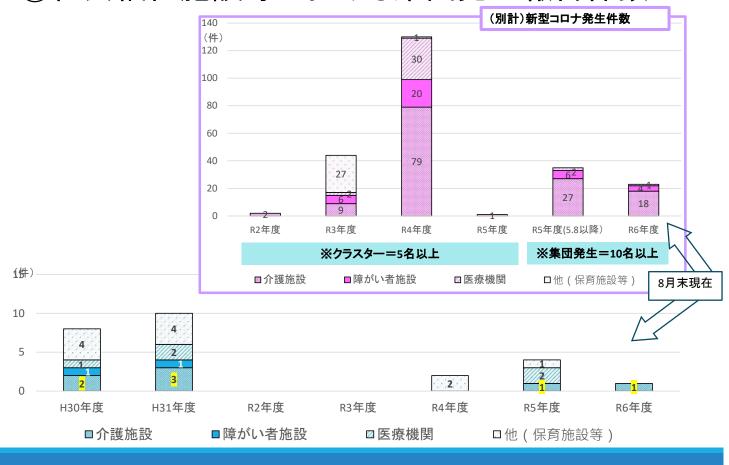
### ①全数報告疾患別集計

疾患名		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 ~8月末	計
2 類	結核	25 21		19	22	21	28	7	143
3 類	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	1	0	0	0	0	2
	レプトスピラ症	1	0	0	1	2	1	0	5
4 類	レジオネラ症	3	1	2	3	0	2	1	12
7,5	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	3	6	4	6	19
	カルバペネム耐性腸内 細菌科細菌感染症	2	0	0	0	0	0	0	2
	麻しん	23	0	0	0	0	0	0	23
	破傷風	0	1	0	0	0	0	0	1
	百日咳	0	1	0	2	0	1	2	6
5	後天性免疫不全症候群	2	2	0	0	1	0	0	5
類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	5	7	2	3	3	10	1	31
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	4	0	0	0	0	1	7
	急性脳炎	0	1	0	0	1	0	2	4
	播種性クリプトコックス	0	0	0	0	1	0	0	1
	ジアルジア症	0	0	0	1	0	0	0	1
	合計	38	18	5	13	14	20	14	122

### ②令和5年度感染症発生動向調査月別報告状況 (定点+協力医療機関) 単位:件数

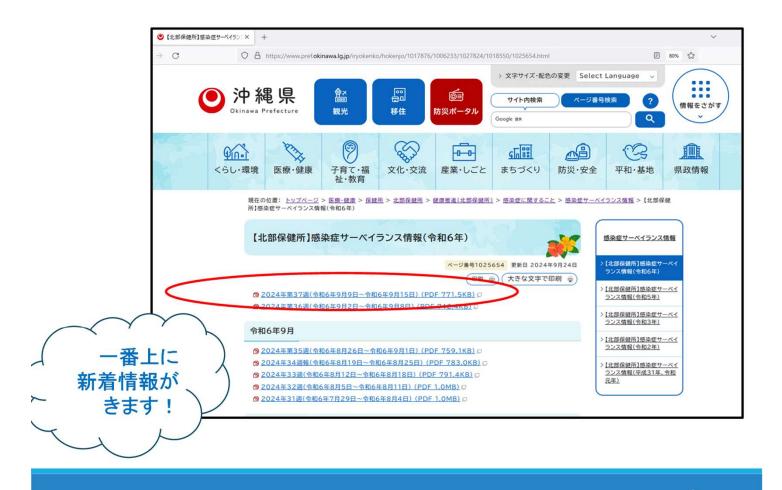
疾患別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	RSウイルス感染症	7	24	43	83	25	10	6	0	0	0	5	1	204
	インフルエンザ	4	0	8	15	63	207	397	135	125	457	573	196	2180
	咽頭結膜熱	0	1	1	4	9	38	53	108	44	8	9	7	282
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	13	5	9	11	6	14	20	42	38	52	31	252
	感染性胃腸炎	6	1	1	1	0	0	0	7	0	3	6	0	25
	水 痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	手足口病	18	7	11	5	4	0	22	17	15	1	2	0	102
	伝染性紅斑	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	突発性発疹	1	1	0	1	0	1	2	0	2	0	0	1	9
	ヘルハ゜ンキ゛ーナ	1	0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	7
	流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5 類	流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性出血性結膜炎	0	0	0	1	1	1	4	1	0	2	3	0	13
	クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	性器クラミジア感染症	0	0	2	2	3	0	3	0	6	3	3	2	24
	性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	尖形コンジローマ	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3	0	6
	淋菌感染症	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	1	2	7
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	7	3	4	3	3	3	4	3	30
	薬剤耐性緑膿菌咸染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新型コロナウイルス	_	157	433	458	145	186	70	31	28	153	60	75	1796

### ③社会福祉施設等における集団発生報告件数



## (3)感染症サーベイランスの閲覧方法・見方





## 令和6(2024)年 第42週

※別紙①をご確認ください。

## 高齢者施設において 感染症サーベイランスを活用すると・・・

流行の恐れがある感染症を早期に察知し、予防対策を とることができる。

- 換気、マスク、手洗いの励行等の予防行動
- •清掃、共有スペースの整頓や換気の点検等の 環境整備
- 施設内管理者、各部署担当者、嘱託医等と感染 症発生状況について共有し、感染対策や感染 者発生時の対応について話し合う (感染対策委員会等)
- 面会時の感染対策強化

11

高齢者施設において 感染症サーベイランスを活用すると・・・

### 【利用者に対して】

- 利用者の日々の健康管理を継続し、症状を早期に発見できる
- ・必要時は、早めにかかりつけ医を受診できる

### 【職員に対して】

- ・感染症の発生状況や感染予防行動について、周知できる
- ・職員の日々の健康管理を強化できる

#### 【面会者に対して】

- ・面会者の体調チェックをする
- ・感染症拡大時には面会時間等を調整する

## (4)集団発生報告

社会福祉施設等の施設長は、ア、イまたはウの場合、市町村等の社会福祉施設等主管部局に迅速に、感染症または食中毒が疑われる者等の人数、症状、対応状況等を報告するとともに、併せて保健所に報告し、指示を求める等の措置を講ずること

- ア 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡 者又は重篤患者が1週間内に2名以上発生した場合
- イ 同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名 以上又は全利用者の半数以上発生した場合
- ウ ア及びイに該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染 症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

(参考)「社会福祉施設等による感染症発生時に係る報告についての本文 一部改正について(令和5年4月28日付けこ成総第18号等)」(一部抜粋)

13

## 集団発生時に情報共有してほしい内容

保健所	県北/医師会
報告様式1…発生概要報告様式2…陽性者リスト  <具体例>  応設概要  (施設種別、利用者数、職員数)  応染者数(利用者、職員)  応流行中の疾患名  症状、重症者の有無  発生日  感染経路  現在行っている対策  嘱託医との連携状況  等	□ 発生概要 □ 疾患名 □ 基礎疾患 □ 患者概要(ADL等)

## (5) 高齢者施設からよくある質問

- 〇コロナ抗原検査キットについて
- 〇(療養期間について)

15

# ご清聴 ありがとうございました◎

〒905-0017 沖縄県名護市大中2丁目13番1号 沖縄県北部保健所 2階 健康推進班

TEL 0980-52-5219 FAX 0980-53-2505